

# Sire

サイア

Vol.395

7  
月号

JP3H53959

# ヘンカシーン ゴールド ドリーム

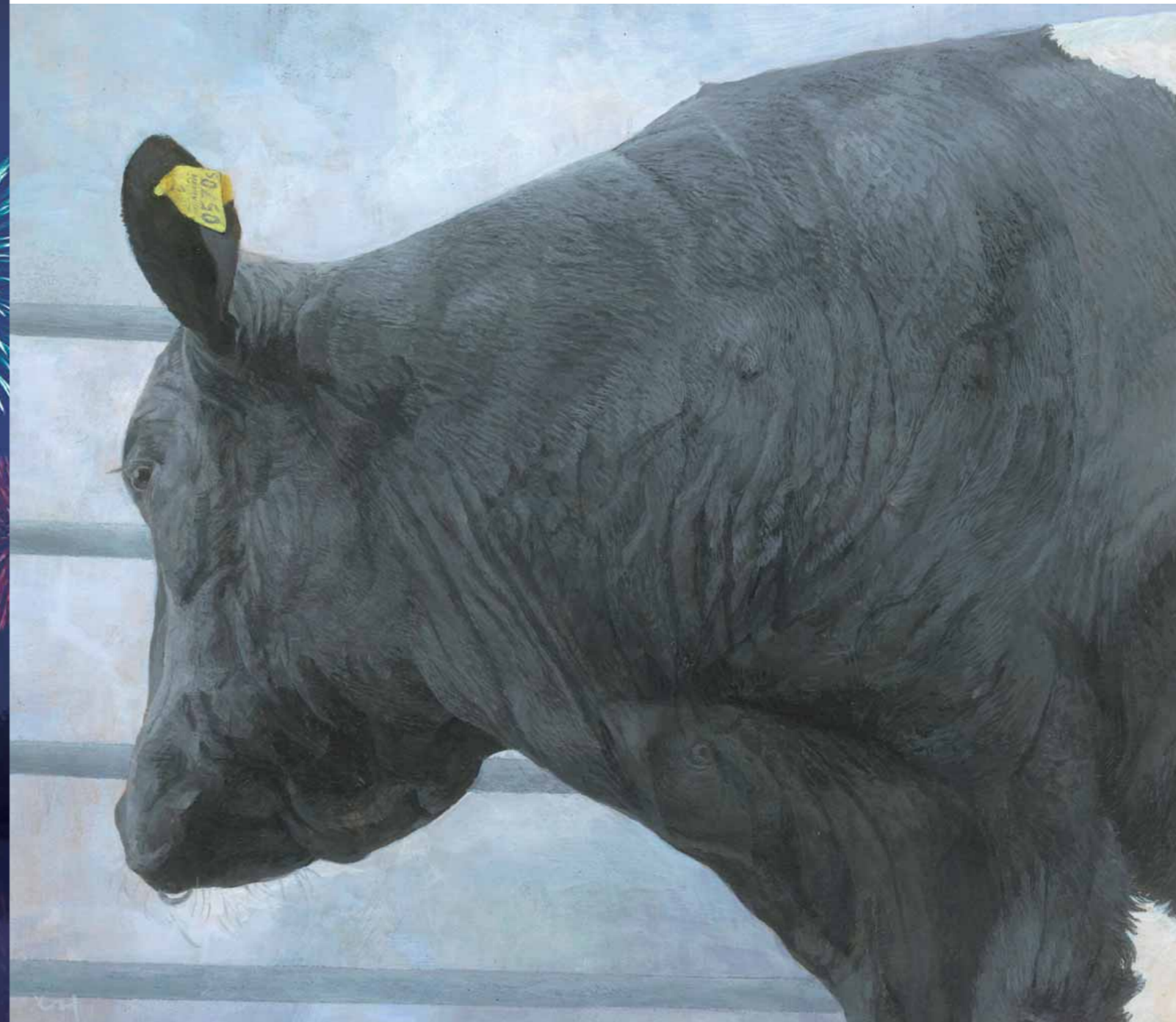
TL/TV

父：ブレイデール ゴールドウイン 母の父：コムスター ストーマテック ET  
NTP +2,940 NO.6 決定得点 +0.78 乳器 +0.59 肢蹄 +1.16



TK チムリン ダルドリーム ブック  
岡山県津山市/辻 賀裕 氏 所有 母の父/ルツツメドース ピースター ミツクス ET

グランデール ドラ ゴールド ポコロ  
岡山県美咲町/吉原 直樹 氏 所有 母の父/ミツドフィールド CCM アレン ET



「エンドレス ジアンピ」画:富田 美穂 ブログ「うしのつむじ」<http://usinotumuji.blog28.fc2.com/>



〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F

〈業務部〉 TEL(011)242-9645 FAX(011)242-9651 (改良部) TEL(011)242-9646 TEL(011)242-9647	●道北事業所..... TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113 ●道東事業所..... TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325 ●道央広域事業所 広域 TEL(011)375-4395 FAX(011)375-4411 道央 TEL(011)375-4422 ●十勝北見事業所..... TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839 ●十勝清水種雄牛センター...TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150 ●道央種雄牛センター...TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330
--	---

ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

## CONTENTS

- 2 現場レポート(乳) 記憶に残る牛づくりを目指して～別海町 山賀牧場～
- 4 注目のカウファミリー 第7回「ウエスウッド HC ルーデー ミツシー ET EX-92」
- 6 現場レポート(肉) グリーン・ツーリズムへの挑戦～中富良野町 愛澤牧場～
- 8 今からでも間に合う遺伝改良の基礎知識
- 10 交配相談サービス実施レポート
- 12 2012年ブラックアンドホワイトショウ
- 14 新規種雄牛の紹介(肉)
- 15 顕彰結果/人工授精師講習会合格者



# 記憶に残る牛づくりを目指して ～別海町 山賀牧場～

今年は、春先よりショウリングでミッドフィールド CCM アイオーン RC (以下:アイオーン)の娘牛たちが一際目を引いています。ここ根室管内でも、別海町山賀牧場所有のアイオーン娘牛であるダイアリー オーシャンズ アイライン号 (以下:アイライン)が管内のショウリングで活躍しています。

今回はそのアイラインと生産者である山賀秀一さんをご紹介します。

## ●別海町とは



別海町は北海道東部に位置し、乳牛の飼養頭数が10万頭を超え日本一の生乳生産量を誇る一大酪農地帯です。摩周湖の伏流水と、澄み切った空気の中育つ牧草を食べる牛の牛乳は高品質で有名です。また野付のホタテや北海シマエビなどに代表される漁業も盛んで、食材の宝庫ともいえる土地です。



## ●牧場の概要

山賀牧場は、昭和初期に曾祖父が群馬県から入植されたのが始まりです。現在は秀一さんで4代目となり、ご両親と秀一さんご夫婦の4人で牧場経営をしております。

飼養頭数は経産牛約70頭、未経産牛約55頭、牛群平均乳量は約8,500kgです。牛のストレス軽減と運動を目的として夏季は放牧、冬季はパドックに出すなど



【放牧風景】



【秀一さんと奥さんの牧子さん、二男の碧空くん(長女の向日葵ちゃんと長男の垂斗夢くんは学業のため不在)】

通年可能な限り外へ出すようにしています。牛床の数も限られており、現在の飼養頭数と飼養形態が合っているそうです。

子牛はハッチで3ヶ月間哺乳し、その後牛舎の独房で10ヶ月まで飼育、それからはフリーバーンの育成舎に移動します。子牛の時は下痢と毛づやに気を配り、哺乳の終わり頃から乾草を与えて腹をつくります。これらの牛に対する細かな気遣いが共進会での活躍につながっているのだと思います。

## ●アイラインについて



昨年秋に開催されたJA道東あさひ乳牛改良同志会 オータムホルスタインショウでの第2部1位でショーデビューし、今春は別海町畜産総合共進会で3部2位、根室ブラック&ホワイトショウで3部2位、JAふれあいまつり(別海町)では5部で1位を獲得してジュニアチャンピオンに輝くなど、多くのショウで活躍しています。

ジュニアチャンピオンを獲得したJAふれあいまつりではあまり状態がよくなかったようで、「あと2ヶ月間かけてサイズと肋を作

り最高の状態で秋の共進会に臨みたいですね。春の共進会は順位にそれほどこだわらず、秋に向けて上を目指していきたいです。」と秀一さんは力強く語って下さいました。

アイオーンの娘牛たちに望むことは「後代検定クラスや月齢の小さいクラスだけではなく、月齢の大きなクラスでも対等に戦えるような牛になってほしいですね。」

## ●今後の改良目標

「生涯乳量ですね。能力だけでなく、牛でもなく、体型だけがよい牛でもなく、両方のバランスを備えた牛づくりをしていきたいです。どこの農家の方も言われますが、乳房と肢蹄の改良は外せないですね。」「また、いい草を作って育成でいかに食い込ませるか、そしていかに長い間

搾るか、やはり利益の追求はしていきたいです。」

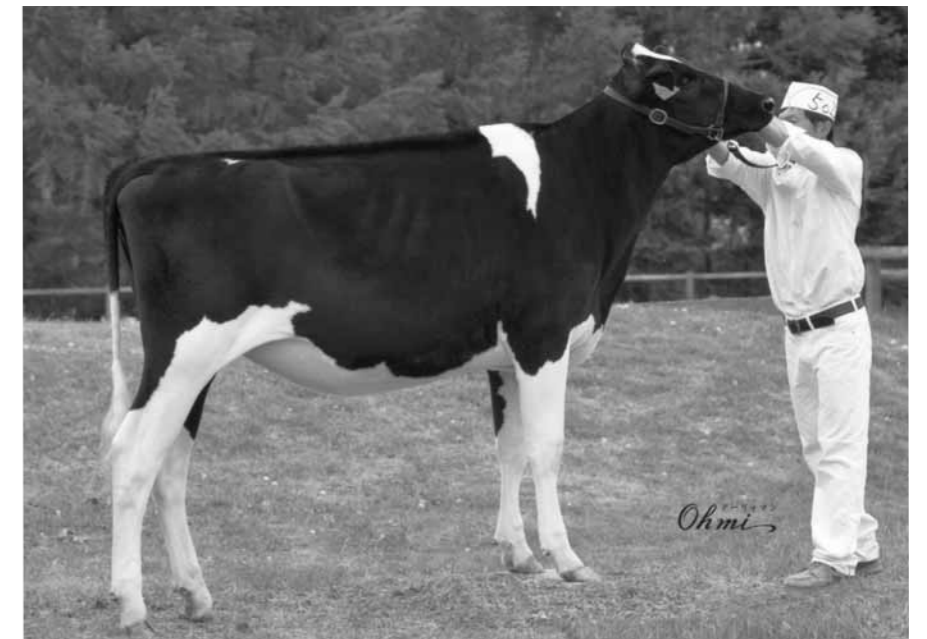
山賀牧場の平均産次数は5産で、秀一さんの牛づくりにかける思いが長命連産にもつながっているように感じました。

## ●最後に

山賀牧場の冠名である『ダイアリー』の由来は、秀一さんがショウを始められた頃に、人々の記憶に、そして記録に残るようという願いを込めて奥さんが決められたそうです。共進会をはじめ6年目という秀一さんですが、アイラインをはじめ数多くの記憶に残る牛づくりをされています。

今回、快く取材を引き受けてくださった山賀さん夫妻に心より感謝すると共に、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

(道東事業所 戸田篤司)



ダイアリー オーシャンズ アイライン号 H23.3.11生 母の父/レーガンクレスト エルトン ダーハム ET 【2012 JAふれあいまつり ジュニアチャンピオン】

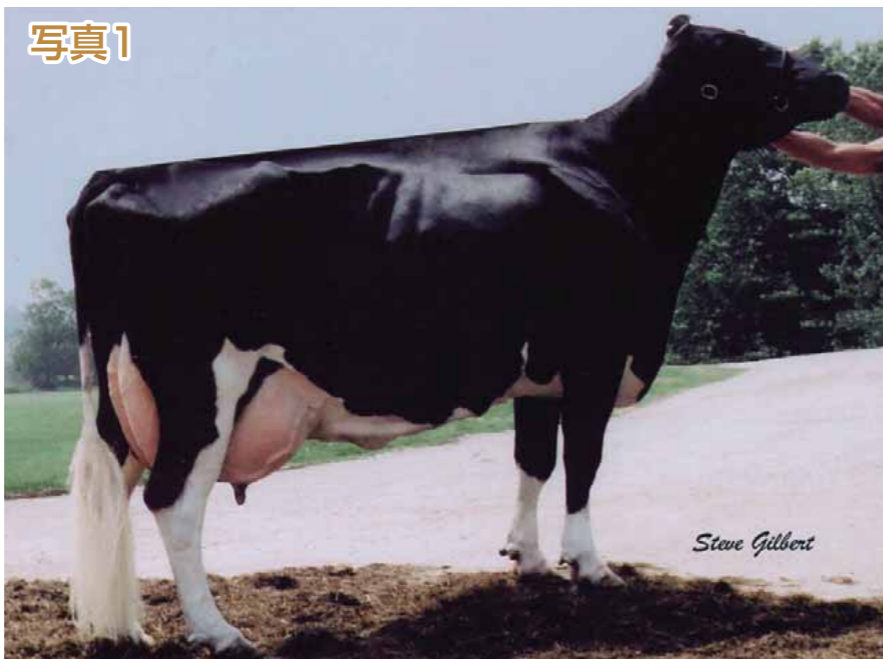


# 第7回 ウェスウッド HC ルーディー ミツシー ET EX-92

今回紹介するカウファミリーは、ここ1年間で北米の大きなセールの中心となっている“ウェスウッド HC ルーディー ミツシー ファミリー”です。ルーディー ミツシーファミリーは、斉一性のある機能的体型と安定した能力、また父ルドルフから継承された長命性と繁殖性に優れた子孫を数多く残しています。更に、近年のジェノミック評価成績においても多くの子孫が上位にランキングされるなど、北米授精所が最も注目するファミリーの一つです。

ルーディー ミツシーは、未経産時にアメリカ・オハイオ州にあるパインツリー牧場が購入しました。当時はそれほど高い評価成績ではありませんでしたが、小柄で乳用性と機能的体型を備え、この牧場のフリーストール牛舎に適した娘牛でした。また繁殖に大変優れた重なる採卵で多くの受精卵を生産し多数の子孫を残し、計22頭の候補種雄牛が北米授精所に送り込まれました。その結果、北米でも屈指のルドルフを代表する娘牛となりました。

代表娘牛には、SEMEX種雄牛パインツリー シド ETやMr マーベラス ETの母であるパインツリー フィンリー ミニー ET【写真3】や120頭以上の娘牛を残したパインツリー ミツシー ミランダ ET【写真10】などがあり、中でもルーディー ミツシーの孫娘に当たるパインツリー マーサ シーン ET【写真6】はエリートカウを多数輩出する一派となりました。シーンのプラネットによる娘牛アモンピーチイ シヤウナ ET【写真7】は、GTPI+2,334で現在全米第7位



にランキングし、今や北米No.1のプラネット娘牛と称されるほど評価され、どの授精所も種雄牛が欲しいエリートカウです。シヤウナは、中型サイズで体長があり乳用強健性に極めて富み、正確な肢蹄と尻の形状、そして高能力で付着強い乳器が特徴で、ジェノミック評価でも子供たちが高くランキングされています。このシヤウナのローバスト(ソクラテス×オーマン)による娘シーガルベイ ミス アメリカ ET【写真8】は昨年の11月にカナダ・ケベックで行われたGPSセールでトップセールとなりました。彼女は生後わずか3ヶ月という月齢にもかかわらず、GTPI+2,480のジェノミック成績が評価され\$165,000(約1,300万円)の高額で取り引きされました。その数日後に催されたカナダ・トロントでのセールオブスターズでは、シヤウナの全姉妹アモンピーチイ シヤナ ET【写真9】が2番目の高額\$167,000で売買され、4番目の高額\$87,000

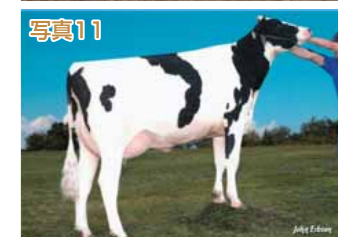
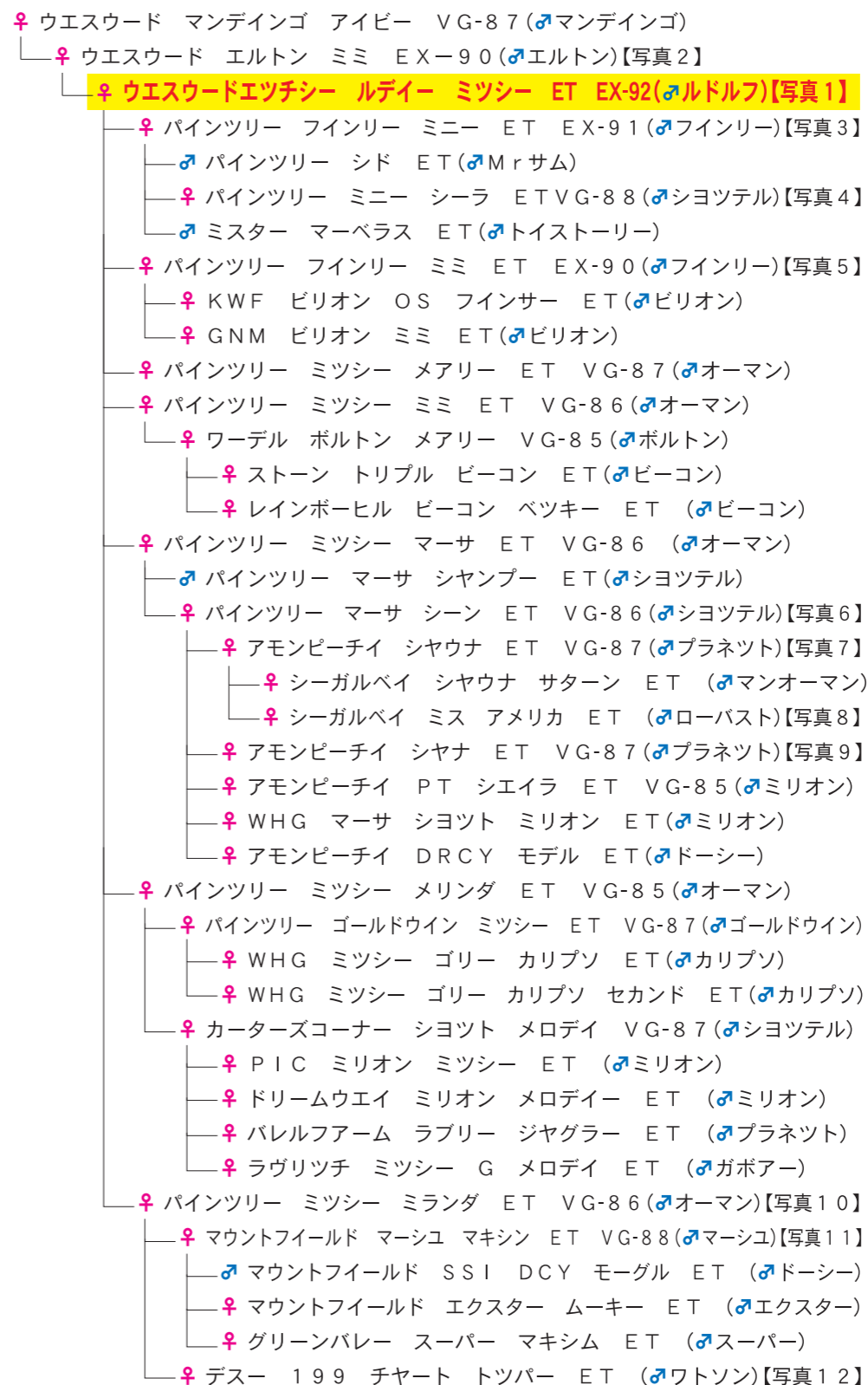
(約700万円)になったのがシヤウナのマンオーマンによるシーガルベイ シヤウナ サターン ET (GTPI+2,388)でした。また、ミランダのワトソン(ポリバー×シヨツテル)による娘牛【写真12】は2011年12月ジェノミック評価成績で第1位(GTPI+2,650)になり、更にミランダの孫息牛のマウントフィールド SSI DCY モーグル ETは人気のジェノミックヤングサイアの1頭です。

どの牛にも共通するのが、ファミリーが継承する中型サイズで機能性に優れた体型と安定した能力、更に長命性と優れた繁殖性を受け継いでおり、ジェノミック評価でも証明されています。今日の我々が理想とする乳牛に最も近く、このファミリーへの需要は更に高まっていくと思われます。

(改良部 伊藤 克美)



## 系統図





# Green Tourism

## グリーン・ツーリズムへの挑戦

### ～ 中富良野町 愛澤牧場 ～

皆さん、グリーン・ツーリズム(GT)という言葉を知っていますか？

GTとは農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことで、ヨーロッパでは農村に滞在しバカンスを過ごすという余暇の過ごし方が広く普及しています(農林水産省HP参照)。

今回は中富良野町で黒毛和種の肥育を行いながら、GTを体験できる農家民宿『ファームイン富夢』を運営されている愛澤忠牧場をご紹介します。



左側3頭が検定中のHK-186「富高福」の肥育牛で一番右がJB-24「北乃大福」の肥育牛

### 牧場概要

愛澤牧場のある中富良野町は北海道の中央部に位置し、じゃがいもや玉ねぎ、人参などを生産する畑作が盛んな地域です。またラベンダー畑が有名で夏場になると全国、また海外からも多くの観光客が訪れる観光地です。

当牧場は現在、肥育牛35頭を飼育しており、平成17年度北海道枝肉共励会(黒毛和種の部)では『静糸号』(父:糸福)で優秀賞1席を獲得、同年の第2回ジェネティクス

北海道枝肉共励会でも『富士夫号』(父:北平勝15)で優良賞を獲得しました。また平成15年に東京都中央卸売食肉市場で行われた『ふらの和牛枝肉共励会』では当時、現場後代検定中だった『北平安』の産子でBMS No.11の最優秀賞を獲得し、全国の和牛関係者から『北平安』が注目されるきっかけにもなりました。

現在の肥育牛のうち約1/4は当団の後代検定材料牛、残りを地元産の素牛を市場から購買し、できる限り枝肉成績を地元で還元

できるようにしています。出荷する枝肉は富良野地域の肥育農家とともに立ち上げたブランド牛『ふらの大地和牛』として、十勝枝肉市場に出荷しています。

愛澤さんは稲作も行っており、そこで生産される良質な稲ワラを肥育牛に給仕することで、枝肉成績の向上にも繋がっていると感じました。



『ファームイン富夢』の宿泊施設。左側が客室タイプ、右側がコテージタイプ



愛澤忠さんと友子さんご夫妻

### 農家民宿を始めて

平成11年に開業した『ファームイン富夢』は、昔から生産者と消費者の交流が無く、距離も遠いと感じていた愛澤さんが、息子さんの就職をきっかけに自分のやりたいようにやろうとコテージタイプと客室タイプの宿泊施設を建築したのが始まりでした。しかし開業当初はまだ障害が多く、旅館業法や建築基準法、食品衛生法など様々な法律の壁がありましたが、富良野地域で農家民宿を先に営業していた先輩方や普及所の助けも借りて何とかクリアすることができました。

農家民宿を始めて、農家とは違う目線や考え方を持つ消費者と接することで、自分自身も勉強になることが多かったそうです。現在の年間の宿泊者は800人位で、学校の修学旅行生や一般の家族連れが多いとのこと。ほとんどは沖縄を含む道外からの観光客で、毎年訪れるリピーターもおられます。

ジャージー牛の搾乳、アスパラガスやスイートコーンの収穫などの農業体験メニューも用意されていますので、興味のある方はHPをご覧ください。

### 今後の目標

「現時点での課題は『ふらの大地和牛』のブランド強化です。出荷5ヶ月前から脂肪の質向上のためにモチ米粉を500g/日ほど与えるなどの取り組みを行っていますが、肥育組合農家5軒による年間出荷頭数は約200頭程度なので、まだまだ知名度を高めるには至っていないのが現状です。『ふらの大地和牛』を名指して購買者から買ってもらい、地元の祭りや催し物に出してもらえたら最高です。」

『ファームイン富夢』については「自分達がやりたいことをやっているだけです。訪れた方には、あくせくした観光ではなく、自然豊かなこの中富良野の地でゆっくりくつろいで欲しいです。」

### 最後に

私は学生時代、『ファームイン富夢』に泊まったことがあります。卒業研究のため愛澤さんに話を伺っている最中に「水だ、飲め。」と出された飲み物が実は日本酒だったという強烈な印象は、5年たった今でも良い思い出として残っています。

今回は大変お忙しい中、快く取材を引き受けてくださいました忠さん、友子さんご夫妻に心より感謝申し上げますとともに、これからの『ふらの大地和牛』が益々発展されることを祈念申し上げます。

(道北事業所 齋藤 哲也)

『ファームイン富夢』  
北海道空知郡中富良野町東4線北14号  
<http://www.farm-in-tomu.com>



# 今からでも間に合う 遺伝改良の基礎知識

最近、乳牛改良の現場でもジェノミックやDNA、SNPなど、耳に新しい言葉が飛び交っています。確かにこの25年間ほどの遺伝的改良における技術的進歩は素晴らしいものがあります。

しかし、いくら高度な技術を駆使しても、基本が間違っていると効果的な改良は望めませんし、予想もしない方向へ改良を進めてしまうかもしれません。

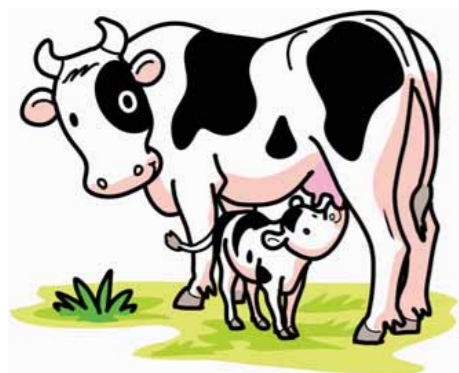
いろいろな情報が溢れている今だからこそ、もう一度、乳牛改良の基本について考えてみましょう。



上の式は年当りの『**遺伝的改良量**』を表わしたものです。難しそうに見えますが、実はとてもシンプルな考え方に基づいています。

乳量をもっと搾りたい、乳器の良い牛が欲しい、飼い易い牛が欲しいなど普段から皆さんが望んでいることが上手く進むかどうかは、この式を意識することで大きく変わってくると言っても良いでしょう。

それでは式の中身を一つひとつ見ながら、実際に改良の現場ではどの様な進め方をすべきかを探ってみたいと思います。



## ① 遺伝率

遺伝率は親の能力が子に伝わる割合です。0から1までの数値で表わされ、形質によって数値は異なります。乳量・高さ・体の深さなど遺伝率の高いもの(0.5程度)から、蹄の角度・在群期間・難産率など非常に低いもの(0.1未満)まで様々です。

遺伝率が高い形質は遺伝改良を進めやすく、低ければ環境の影響を受けやすいため、改良を進めるのが難しくなります。

実際に現場ではどの形質を改良するか(改良目標の設定)と同時に、その形質の遺伝率も意識する必要があります。また、遺伝率は「選抜の正確度」にも影響し、種雄牛を選ぶ際の評価値の信頼度も大切になってきます。

## ② 選抜強度

文字どおり選抜の強さのことです。例えば、180頭の種雄牛からNTP上位20%だけを選抜して利用する、ある牛群の乳量の上位60%を後継牛として残すなどで、この比率が低いほど、選抜強度も高くなります。また、性選別精液や受精卵移植などを利用して選抜強度を高めることができます。

種雄牛へ強い選抜をかけることは可能ですが、雌牛に強い選抜をかけるのは難しいのが現状です。そこで、雌牛の場合は遺伝的能力が低い個体、疾病・事故など問題のある個体の淘汰、次世代を作るための優秀な個体の積極的な育種活用など、選抜淘汰や牛群更新を確実に行うことが大切です。

## ③ 表型標準偏差

ある牛群の平均検定乳量が8,600kgのとき、個々の乳量は4,000kg台から10,000kg台の牛まで存在しているかもしれません。平均乳量だけでは判らないこのばらつき度合いを数値で表したものが標準偏差で、平均乳量8,600kg±標準偏差1,250kgなどと表示されます。

標準偏差の数値が大きくなるとばらつきが大きく(乳量の低い牛と高い牛の差が大きい)、小さくなるとばらつきが小さい(乳量の低い牛と高い牛の差が小さい)ことを示しています。

## ④ 世代間隔

乳牛の雌では母と産子の年齢差が約5~7年あり、この差を世代間隔といいます。世代間隔を大幅に短縮するのは難しく、世界中の改良に携わる人々はこの期間を如何に短縮できるか日々努力を重ねています。

それでは、どのようにすればあなたの牛群の世代間隔を少しでも短縮することができるか?

例えば、未経産牛には黒毛和種ではなくホルスタイン種を積極的に交配します。「でも難産が…」と思われる方は産子難産率の小さい種雄牛や性選別精液を活用することで、その心配を軽くすることもできるでしょう。

また、受精卵移植の活用や受胎率を上げることでも世代間隔の短縮が図れます。若く優れた個体から出来るだけ早く、次世代を作ることが大切なのです。

ここでもう一度、左の式を見てみましょう。この式は分数で表わされています。

つまり遺伝的改良量を大きくするためには、分子を大きくするか、分母を小さくすれば良いのです。言い換えると①**遺伝率**、②**選抜強度**、③**表型標準偏差**を大きくするか、④**世代間隔**を短くすれば良いのです。

しかし、実際に現場では一つひとつをあれこれ考えたり、改良したい形質がたくさんあると、「そんなのとても無理っ!」という声が聞こえてきそうです。

そこで選抜指数を使うという考えが出てきます。日本では総合指数(NTP)や長命連産効果などの選抜指数が利用でき、その上位の種雄牛や新しい種雄牛を利用することで**遺伝的改良**を効果的に進めることが可能です。また、乳牛に求められる複数の形質も同時に改良することができるのです。

個々の酪農家の改良を考えた場合、種雄牛に対する要望や考え方は様々です。一つの選抜指数で対応するのは難しくなる場面もあるでしょう。酪農を取り巻く環境が多様化する中、近親交配や遺伝病の問題、難産のリスク、数ある種雄牛からどれを使うかなど、頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。

そんな方に提案させて頂いているのがジェネティクス北海道の交配相談サービスです。本サービスは、以下のポイントを分かりやすく確認することができ、安心して交配種雄牛を利用していただけると考えています。

- 📌 遺伝的改良を確実に進める
- 📌 近交係数の急上昇の抑制
- 📌 遺伝病発症のリスク軽減
- 📌 自身の牛群改良状況の確認、未来の予測
- 📌 牛群更新のアドバイス
- 📌 多くの種雄牛から各雌牛に適した交配種雄牛をリストアップ



※交配相談サービスと性選別精液に関するお問合せは、最寄りの事業所または改良部、業務部へお願い致します。

なお、当団の交配相談サービスは北海道内のみ提供となっております。



# 交配相談サービス実施レポート

## 釧路市:有限会社仁成ファーム ～メガファームにおける交配相談の活用法～

ジェネティクス北海道は、2009年より交配相談サービスを提供させていただいております。本サービスは、近交係数の上昇を抑制しながら、1頭の雌牛に対して改良目標に沿った種雄牛が3頭推奨されることが特徴です。

今回は、釧路市の(有)仁成ファームで授精を担当している菊地智和取締役役に、交配相談を始めるきっかけと交配相談を利用してどんな牛づくりを目指すのかを伺いましたので、ご紹介いたします。

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「釧路湿原」「阿寒」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、東北北海道の中核・拠点都市として社会、経済、文化の中心機能を担っております。

(釧路市HP参照: <http://www.city.kushiro.hokkaido.jp>)



1日あたりの授精頭数は、多い時で30頭以上になります。

### 3. どのようなきっかけで交配相談サービスを始められたのですか？

2010年にジェネティクス北海道道東事業所の精液販売担当者から紹介されたことがきっかけで始めました。一度に授精する頭数が多いので、交配相談を始める前は1頭ごとに繁殖台帳で血統を確認して授精に供する種雄牛を決めることが容易ではありませんでした。更には授精する雌牛に血縁に近い種雄牛を授精してしまうことも度々ありましたが、このサービスでは交配相談の結果表に血縁と改良目標を考慮した推奨種雄牛が表示されるため、以前よりも手際よく交配種雄牛を決められるようになりました。

4,350.9tでした。2つの牧場の出荷乳量の合計は8,110.5tで、釧路管内で最も多くの生乳を出荷する牧場です。  
仁成ファームHP参照: <http://jinsei-farm.com/>

### 2. 授精はどのように実施されて、いるのですか？

自家授精で、私が2つの牧場を掛け持ちして授精を実施しています。



### 1. 有限会社仁成ファームの概況について教えてください。

3戸の酪農家が集まり設立され、現在は搾乳牛360頭で3回搾乳を実施しています。平成23年度の出荷乳量は3,759.6tでした。さらに、同じ釧路市で経営している第2牧場のウィングフィールドでは、搾乳牛400頭で3回搾乳を実施しており、平成23年度の出荷乳量は

### 4. 交配相談でどんな改良目標を設定していますか？

第1形質を肢蹄、第2形質を乳器に設定しています。当牧場では、肢蹄の故障が原因で淘汰せざるを得ない状況が続いているので、飼養管理と遺伝的改良の2方向で改善していくために肢蹄を第1形質に設定しています。そして乳器を第2形質にして、作業効率の高い乳器を持つ牛群を目指しています。ミルカーを装着しやすいことが、作業効率の高い乳器だと思いますので、乳器の形質のなかでも後乳頭の配置を重視しています。後乳頭の配置が内付きの乳器は、ライナースリップを起こし、それが起因して乳房炎になりやすくなり、作業効率が低下する一因となります。今後の牛群改良の方向性は、長命連産性に耐えることができる肢蹄と乳器を持ち、乳脂率の高い牛群に改良できたら良いと思います。

### 5. 交配相談サービスに一言お願いします。

交配相談の結果表を携行して授精をするため、いつも出力しているA3判の他に、A4判を出力して頂きたいと思います。

当団では、交配相談の結果表はA4判とA3判の2種類をご用意しております。どちらにも推奨種雄牛、本牛の近交係数、第1形質と第2形質の育種価が掲載されており、A3判はサイズが大きいため1枚に表示できる頭数が多いということが長所です。しかし、結果表を携行して利用するならば、ファイルに綴じられるA4判をお薦めいたします。

交配相談は雌牛ごとに近交係数と改良目標を考慮した推奨種雄牛が分かるため、授精がスムーズに進むというメリットがあります。特に授精頭数が多いメガファームでは、そのメリットを大いに活用していただきたいと考えます。

交配相談による牛づくりの成果が表れるには長い時間を要するため継続することが大変重要です。これからも交配相談を通して改良のお手伝いをさせていただきたいと思っております。

大変お忙しい中、今回の取材にご協力頂いた有限会社 仁成ファームの菊地取締役様に感謝いたします。今回頂きました貴重なご意見とご感想を活かし、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えております。

(改良情報課 大林敏朗)



【60頭のロータリーパーラー】



北海道限定

## ジェネティクス北海道 交配相談サービス

理想とする牛群づくりをお手伝いいたします！  
詳しくはお近くの事業所または改良部までご連絡ください。





# 2012年 北海道ブラック アンドホワイトショウ開催



**【ジュニア・チャンピオン】**  
 TMF ブレーク ウイルディ  
 ビスタ(パームクレスト ブレーク  
 アウト ET/佐藤孝一 広尾町)  
**【リザーブ・ジュニア・チャンピオン】**  
 TMF ゴールド ルーフアス ビスタ  
 ET(ブレイデール ゴールドウイン  
 / (有)田中牧場 清水町)



**●ジャージー種**  
**【ジュニア・チャンピオン】**  
 ケニフロウ ミスター デザイナー  
 (スイトン JW ミスター チーフ  
 ET/高田泰輔 鹿追町)  
**【リザーブ・ジュニア・チャンピオン】**  
 TMF アサナベ アザ ヴインデイ  
 ケリー(ヴインデイケーション  
 / (有)田中牧場 清水町)  
**【シニア・チャンピオン】**  
 サクランド ホイツスラー パピ  
 ヨン ET(ラピツド ベイ リシュ  
 アクション ET/山岸剛 上士  
 幌町)

5月27日から28日にかけて、北海道勇払郡安平町の北海道ホルスタイン共進会場で通算50回の節目となる北海道ブラックアンドホワイトショウが開催されました。今年はホルスタイン種237頭、ジャージー種21頭が日々の乳牛改良の成果を競い合いました。

審査を務めたのはオールジャパンブリーダーズサービス(株)の高橋忠司指導部長でした。



左から審査員の高橋忠司氏とデーリープリンセスの石田あかりさん、佐藤千鶴さん

各チャンピオン牛は以下とおり。カッコ内は父と出品者(敬称略)。

**●ホルスタイン種**  
**【グランド・チャンピオン&シニア・チャンピオン】**  
 TMF アデイン ダンディー チーフ  
 ET(レーガンクレスト ダンディー  
 ET/ (有)田中牧場 清水町)  
**【リザーブ・グランド・チャンピオン&インターミディエイト・チャンピオン】**  
 ドリームフィールド リードマン  
 マタドーア(ノリツタ エアロ  
 スター リードマン ET/村上  
 敦俊 帯広市)  
**【リザーブ・シニア・チャンピオン】**  
 ハイロード ダーハム エルメス  
 ET(レーガンクレスト エルトン  
 ダーハム ET/小椋淳一 上士  
 幌町)  
**【リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン】**  
 クリーン HL テンプター(ハピイ  
 イースト アール エス テンプター  
 ET/ (有)田中牧場 清水町)

**【リザーブ・シニア・チャンピオン】**  
 アサナベ IT ルイス スピンドル  
 (SC ゴールド ダスト パラマウ  
 ント イアトーラ ET/ (有)田中  
 牧場 清水町)

後代検定娘牛の部である、国内後代検定参加同一種雄牛の産子2頭1組で序列を競うゲッツオブサイアーには、当団種雄牛JP3H53584 ミツドフィールドCCM アイオーンの娘牛が10組出場しました。アイオンは春先より各地のB&Wショウで上位入賞しており、この日も20頭の娘牛がショウリングを歩く姿は会場を大いに賑わせました。

**【ジュニアゲッツオブサイアー】**  
 1位: ミツドフィールド CCM  
 アイオン  
 ミツドフィールド アイオン  
 ローナ(中田和孝 江別市)

エルムレーン アイオン エミ  
 リア((有)福屋牧場 恵庭市)  
 2位: ミツドフィールド CCM  
 アイオン  
 ローマンヒル マスコット アイ  
 オン RED、ローマンヒル  
 ビューティー プリピュア  
 ((有)小林牧場 江別市)

ご協力を頂いた出品者および関係者の皆様方に深く感謝いたします。

(業務部 若原 亮)



ジュニアゲッツオブサイアー アイオン娘牛 出品者(順不同): 伊藤真幸氏・小倉正氏・金丸牧場・小坂洋平氏・中田和孝氏・野原幸治氏・富樫悠輔氏・福村稔氏(農)清和農場・(有)宇都宮牧場・(有)小林牧場・(有)サンハイファーム・(有)田中牧場・(有)福屋牧場



# 平成24年度前期 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に、(社)全国和牛登録協会の和牛種雄牛現場後代検定法(現場後代検定)による年間8頭の種雄牛後代検定を実施しています。

この度、平成24年度前期分の4頭の種雄牛が決定いたしましたので、候補種雄牛を紹介させていただきます。

## H黒-213 福忠勝

【フクタダカツ】

黒原 5413 平成22年3月30日生 得点86.1点 生産者:小平町(有)グリーンリーフ		
勝忠平	平茂勝 うめ2	第20平茂 忠福
あい	福之国	北国7の8
	ゆうか	福桜(宮崎)



母「あい」は、第一子(雌)「安照千代(父:安平照)」が格付けA-5、枝肉重量445kg、ロース芯面積74cm<sup>2</sup>、ばら厚8.0cm、BMS No.10、第三子(去勢)「平茂勝」がA-4、枝肉重量471kg、ロース芯面積58cm<sup>2</sup>、BMS No.7と上物率100%の素晴らしい成績を残しています。

また、祖母「ゆうか」の兄「福桜」もA-5、妹「福之国」でA-4、弟「福桜」でもA-4を記録しており産肉能力の高い母系である事が証明されています。

本牛は高い産肉能力を持つ「あい」に一世を風靡した気高系種雄牛「平茂勝」の代表産子「勝忠平」を交配し、質量兼備の種雄牛を目的として導入した種雄牛です。

## H黒-216 鶴北福

【ツルキタフク】

黒原 5470 平成22年8月8日生 得点82.3点 生産者:鳥取県 長谷川 照一		
北乃大福	安福(岐阜) たにみ	安谷土井 谷美土井
ちづる3の5	北国7の8	第7糸桜
	ちづる3	安福(岐阜)



母「ちづる3の5」は、産肉能力の高さから全国的に活躍をした「福栄」の母「はるみ」の孫にあたり、当団検定中のH黒-185「波千鶴(父:安福165の9)」の祖母になります。

本牛は「はるみ」の血液を色濃く吸んでいる「ちづる3の5」に、北海道育種価において常に上位に評価され、全国的に脂肪交雑能力に定評がある当団「北乃大福」を交配し肉質、特に脂肪交雑に優れた能力を持つ「安福(岐阜)」の血液が強く、さらなる産肉能力の向上を目的として導入した種雄牛です。

# 平成23年度優秀種雌牛顕彰の結果について

当団種雄牛の娘牛で平成23年1月から12月までの間に乾乳報告があり、生涯乳量5万キロ以上かつ体型得点85点以上の検定牛を繋養する生産者の皆様に、前年度に引き続き、記念の「楯」を贈呈いたしました。

北海道内で459頭(検定農家戸数292戸)、府県で79頭(検定農家戸数62戸)の検定牛を表彰いたしました。北海道(地区別)と府県の対象牛の頭数を表1に示しました。

表1.北海道と府県の表彰戸数と頭数

地区名	表彰戸数	表彰頭数
石狩	11	21
空知	10	16
上川	10	13
後志	4	6
釧路	1	1
渡島	5	6
胆振	7	7
日高	6	10
十勝	73	114
釧路	19	29
根室	61	106
網走	53	83
宗谷	20	27
留萌	12	20
全道	292	459
府県	62	79
合計	354	538

最も多く優秀雌牛を輩出した種雄牛は「ロイレーン ジェスロ ET」で、対象牛は151頭でした。表2に対象牛の種雄牛一覧表を示しました。なお、平成24年1月早々にデータを取りまとめているため、それ以降に報告のあったものについては次年度に表彰する予定です。

今後も生産者の皆様に「安心」・「安全」・「満足」をお届け出来る種雄牛の造成に一層力を入れて参

りたいと考えております。今回の表彰で飼養されている検定牛にスポットがあたり、少しでも皆様の励みになる事を念じますと共に、ご協力頂いた関係機関の皆様によりお礼申し上げます。



表2.表彰対象娘牛の多かった種雄牛ベスト10

後検年度	略号	種雄牛	顕彰頭数
9	JP3H03479	ロイレーン ジェスロ ET	151
3	H-3088	ルツツメドース ビースター ミックス ET	55
8	H-3391	サリー エルトン アラン ET	23
9	JP3H03521	ウイルブラスト SA メダリオン ET	13
10	JP3H51402	レーガンクレスト JB ラモン ET	12
7	H-3333	フアーニアー エルトン アシリー ET	12
8	H-3427	トライウエルシュ セルシ ケント ET	12
10	JP3H51311	グレントクティン バツクナー ET	10
8	H-3436	ビーチローン スローカム タム シド ET	10
10	JP3H51438	シャーエスト ルドルフ スリツク ET	9

# 平成24年度(第28回)家畜(牛)人工授精に関する講習会修業試験合格者

平成24年5月14日から6月8日の間、清水町で実施した「牛に係る家畜人工授精に関する講習会」において、次の方々が修業試験に合格されました。

合格者

- |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 赤嶺 道明 | 河瀬 美香 | 瀬口 晴基 | 長井信二郎 | 八巻 亮  |
| 伊藤 和宏 | 木村 洋介 | 高野 将広 | 中村 圭介 | 山岸 愛  |
| 近江 祐哉 | 郷家 直樹 | 高橋 和成 | 中村 優紀 | 山田 文啓 |
| 大谷 純平 | 小林 尚登 | 高橋 宏寿 | 畑端 俊樹 |       |
| 奥苑 祐史 | 齋藤太香詞 | 田代 一步 | 広沢 卓哉 |       |
| 小倉 千秋 | 坂上 昭洋 | 橘 佑輔  | 穂苅めぐみ |       |
| 加藤 大介 | 佐々木克典 | 辰 光月  | 三澤真左子 |       |
| 加藤 雅人 | 関口 明希 | 千葉 純一 | 八木 幸大 |       |